

「(仮称)こども本の森」基本方針(案)

キッズコメント意見集

～いただいたご意見と札幌市教育委員会の考え方～
(小学生・中学生の皆さんへ)

札幌市教育委員会では、令和8年夏頃に開館予定の新しい子ども向け図書施設、「(仮称)こども本の森」をどのように運営するかを決めるための、「(仮称)こども本の森」基本方針(案)を作り、令和6年12月24日から令和7年1月28日までの期間、皆さんから意見を募集しました。

この資料は、皆さんからいただいた意見の主な内容と、その意見に対する札幌市教育委員会の考え方をまとめたものです。

皆さんからいただいたご意見は、どれも素晴らしく、参考になるものばかりでした。この施設がよりよいものになるように、これからも開館に向けて準備を進めていきます。

合計 911 人から 1,080 件のご意見をいただきました！

学年別内訳

学年	小学生						中学生			合計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
人数 (人)	31	171	202	163	166	56	106	8	8	911
件数 (件)	44	176	276	177	220	61	109	8	9	1,080

※ フォーム登録1回につき一人と数えています。複数ご意見をいただいた場合はその分意見数を計上しています。

令和7年(2025年) 3月
札幌市教育委員会

市政等資料番号
01-S03-24-2817

寄せられた主なご意見と札幌市教育委員会の考え方

第1章 基本方針の策定について

皆さんのご意見	札幌市教育委員会の考え方
1 策定の背景及び目的	
基本方針が何か分からない。	基本方針とは、この施設をどうやって運営していくかを定めるために、どんなことをする施設にするかをまとめたものです。

第2章 これまでの取組・課題と施設の位置付け

皆さんのご意見	札幌市教育委員会の考え方
2 施設の位置付けと期待される効果	
本を読まない人は、そもそも図書館に行かないのではないかな。	普段本を読まない人にも読書の楽しさをもっと知ってもらうために、この施設では、皆さんの興味を引くテーマやジャンルの本を提供するなど、様々なジャンルの本に触れて読書の楽しさに気づくきっかけを作り、読書に対する興味や関心を引き出す取組をしていきます。
この施設を作っても本を読む人は増えないのではないかな。	

第5章 サービスを構築する3つの機能

皆さんのご意見	札幌市教育委員会の考え方
1 誘発機能	
〇〇の本（漫画、小説、図鑑など）を置いてほしい。 (類似意見 239 件)	皆さんからいただいたご意見を参考に、読書に対する興味や関心を持ってもらい、読書の楽しさをもっと知ってもらうために

	は、どんな本を置いたらよいかを考えていきます。
色々なジャンルの本を置いてほしい。 (類似意見 16 件)	皆さんに、普段手にする機会の少ない本と新たに出会ってもらえるように、絵本、図鑑、外国語の本、大人が読む本など色々な本を、テーマに沿って選んで並べます。
幅広い年代が楽しめる本を置いてほしい。 (類似意見 14 件)	
読みたい本をリクエストできるとよい。 (類似意見 7 件)	どんな本を置いたらよいかの参考にするために、皆さんがどんな本を読みたいかなどの意見を聞く方法を考えていきます。
おすすめの本を紹介できるとよい。 (類似意見 4 件)	おすすめの本を紹介し合ったり、本のPOP（本の紹介カード）を作るなどの、皆さんが参加できるイベントを考えていきます。
小説の一部を見せて続きが読みたくなるようにすればよい。	いただいたご意見を参考に、本の魅力を伝えられるような工夫をして、皆さんに様々な本に興味をもってもらえるようにしていきます。
本を種類などで分けて置いてほしい。 (類似意見 18 件)	オリジナルの分類をつくり、北海道大学で研究していることにも繋がるテーマを分かりやすく皆さんに伝えます。
手に取りやすいところに本を置いてほしい。 (類似意見 15 件)	手の届かないような高い棚に置いた本は、同じ本を下の棚にも置くなど、皆さんが手に取りやすい本の置き方を考えていきます。
ソファやビーズクッションを置くなど、ゆったり座れるようにしてほしい。 (類似意見 25 件)	皆さんからいただいたご意見を参考に、家具を工夫したり色々な本の読み方ができる環境を考えていきます。

床に座ったり寝転んで本を読めるようにしてほしい。（類似意見 13 件）	
その場で本を読めるようにしてほしい。（類似意見 2 件）	
ゆっくり落ち着いて本を読めるようにしてほしい。（類似意見 20 件）	
静かに集中して本を読めるようにしてほしい。（類似意見 10 件）	
話をしてもよいところがほしい。（類似意見 1 件）	
静かに読む場所と話をしてもよい場所など、用途によってスペースを分けてほしい。（類似意見 3 件）	
小さな子どものためのキッズスペースを作してほしい。（類似意見 6 件）	皆さんからいただいたご意見を参考に、小さな子どもが利用しやすい環境も考えていきます。
キッズスペースはない方がよい。	
本を読みやすいように明るいところがよい。（類似意見 3 件）	皆さんができるだけ本を読みやすい環境になるように、読書スペースの照明などを考えていきます。
3 体験機能	
読み聞かせや工作など、イベントをしてほしい。（類似意見 111 件）	皆さんからいただいたご意見を参考に、この施設に来たいと思ってもらえるように、楽しみながら様々な体験ができるイベントを考えていきます。

本を読むだけでなく、遊べるところがよい。 (類似意見 13 件)	施設の中に遊べるスペースを作ることは難しいですが、皆さんにこの施設に来たいと思ってもらえるように、楽しみながら様々な体験ができるイベントを考えていきます。
外で本を読むと、本が汚れてしまうのではないか。	例えば、雨や雪の日は本を外には持ち出さずに建物の中で読んでもらうようにするなど、本を汚さないためにはどうすればよいかを考えていきます。

第6章 運営内容

皆さんのご意見	札幌市教育委員会の考え方
1 蔵書	
たくさん本があるとよい。 (類似意見 9 件)	建物の大きさや、皆さんに本を手にとってもらえるような並び方にすることを考えて、置く本数は約 15,000 冊を予定しています。
本の貸出をしてほしい。 (類似意見 35 件)	いつ来ても読みたい本が読めるようにするため、貸出はしない予定ですが、借りて読みたい本があった時は、札幌市の他の図書館に貸出できる同じ本があるかをスタッフが調べます。
自分が読みたい本が他の人に読まれていたら、読みたい時に読めないのではないか。	読みたい本を他の人が読んでいたら、待つてもらうことになりますが、読みたい本と似た種類の本や他に気になる本が見つかるように、本の並べ方を工夫していきます。
本を検索できるようにしてほしい。 (類似意見 8 件)	皆さんに、普段手にする機会の少ない本と新たに出会ってもらえるように、本の検索

	機は置かない予定ですが、ホームページでこの施設にどんな本が置いてあるかを調べられるようにする予定です。
質問に答えるとおすすめの本を探してくれる機械がほしい。	こうした機械を置くことは難しいですが、「こんな本が読んでみたい」などの質問があれば、スタッフが本を探すお手伝いをする予定です。
2 利用方法	
夜まで開館してほしい。 (類似意見 12 件)	主な利用者である、小中学生の皆さんを中心とした子どもが来やすい施設になるように、開館時間を考えていきます。
食べたり飲んだりできるところがよい。 (類似意見 45 件)	喉が渴いた時に水分補給ができるように、ペットボトルなどのフタ付きの飲み物は飲めるようにすることなどを考えていきます。
勉強をできるようにしてほしい。 (類似意見 5 件)	この施設は勉強をする場所ではなく、皆さんに読書に対する興味や関心を持ってもらい、読書の楽しさをもっと知ってもらうための施設にする予定です。
3 求められる人材・能力と運営手法	
スタッフはまた来たくなるような対応をしてほしい。	皆さんに読書に対する興味や関心を持ってもらい、読書の楽しさをもっと知ってもらうため、「またここに来たい」と感じてもらえる対応を心がけます。
5 寄付金の募集	
税金は上げないでほしい。	この施設を将来にわたって、未来を担う皆さんの学びと成長の場として運営していく

	ため、ふるさと納税などの制度も活用して、 広く寄附金を募集していきます。
--	---

第7章 施設諸元

皆さんのご意見	札幌市教育委員会の考え方
広い建物がよい。 (類似意見 4 件)	この施設は建築家の安藤忠雄さんが設計・ 建築して、北海道大学に寄付するもので、 周りの自然環境も考えて建てられます。こ の施設を、皆さんに読書に対する興味や関 心を持ってもらい、読書の楽しさをもっと 知ってもらうための施設にしていきます。
魅力的な建物にしてほしい。 (類似意見 11 件)	
個室で本を読めるようにしてほしい。 (類似意見 5 件)	個室を作ることは難しいですが、色々な過 ごし方や本の読み方ができる環境を考えて いきます。
階段で本を読めるようにしてほしい。 (類似意見 4 件)	1 階建ての建物なので、階段はありません が、色々な過ごし方や本の読み方ができる 環境を考えていきます。
バリアフリーをしっかりとしてほしい。	誰でも快適に利用できるように、バリアフ リーに配慮して運営していきます。
子ども用のトイレを設置してほしい。	小さな子どもにも使いやすいように、子ど も用のトイレが設置される予定です。

その他

皆さんのご意見	札幌市教育委員会の考え方
賛成 (類似意見 171 件)	—
誰でも楽しめるようになってほしい。 (類似意見 16 件)	主な利用者である、小中学生の皆さんを中 心とした子どもの利用を最優先にしつつ、

誰でも気軽に利用できるところになってほしい。 (類似意見 4 件)	保護者や北海道大学の学生・研究者、教育関係者などにも親しんでもらえる施設にしていきたいです。
「もっと読みたい」や「こんなことをもっと知りたい」など、本の面白さを教えてくれるところになってほしい。 (類似意見 1 件)	皆さんに読書に対する興味や関心を持ってもらい、読書の楽しさをもっと知ってもらうための施設にしていきたいです。
安全なところがよい。	皆さんが安心して過ごせるように運営していきます。
館内の地図を作してほしい。 (類似意見 2 件)	施設に来た人が、どこに何があるのかが分かりやすいように、館内の地図を作る予定です。
施設に行きにくい人のために、いくつかの本をクロームブックで読めるようにしてはどうか。	この施設にある本をクロームブックで読めるようにする予定はありませんが、札幌市の図書館には、パソコンやスマートフォンなどでどこでも本を読むことができる「電子図書館」があります。 「電子図書館」は札幌市図書館のホームページから利用することができますので、ぜひ利用してみてください。
子どもが運営を手伝う仕組みがあるとよい。	皆さんに読書や図書館に興味や関心をもってもらうように、運営を体験してもらうイベントなども考えていきます。
映画や DVD を見れるようにしてほしい。 (類似意見 1 件)	この施設は映画や DVD を見る場所ではなく、皆さんに読書に対する興味や関心を持ってもらい、読書の楽しさをもっと知ってもらうための施設にする予定です。
無料の送迎バスを運行してほしい。 (類似意見 1 件)	無料の送迎バスを運行することは難しいですが、学校と協力して、校外学習でこの施

	設に来てもらうことなどを考えていきます。
図書館を作るのは1都道府県に2つぐらいにしたほうがよい。	札幌市では、小さな子どもから高齢の方まで、札幌市に住む誰もが利用できる施設を目指して、市内の47箇所に図書施設を設置しています。 皆さんが本を読んだり情報を知るために、広くサービスを提供できるよう今後も努めていきます。
みんなの家から近い場所に図書館を置けば、一人でも気軽に歩いて行くことができるのではないかな。	

大人の皆様へ

令和6年12月から令和7年1月まで、「(仮称) こども本の森」基本方針(案)に対する意見を募集しました。この資料は、小・中学生から寄せられた意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え方について報告するものです。ぜひ、お子様と一緒に読んでください。

なお、大人の方々からいただいたご意見と、それに対する札幌市教育委員会の考え方は下記ホームページにてご覧いただけます。

◆ https://www.city.sapporo.jp/toshokan/kodomohonnomori_kihonhoushin_public-comment.html

<問い合わせ先>

札幌市教育委員会中央図書館調整担当課

〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1-1 札幌市中央図書館3階

TEL：011-512-7330